



〒150-0042 東京都渋谷区宇田川町2-1 渋谷ホームズ1408号

TEL(03)5457-1636

FAX(03)5457-1637

2015年10月9日

報道関係 各位

一般社団法人 バスケットボール女子日本リーグ機構
広報部

【WJBL PRESS RELEASE】

第17回Wリーグ オープニングゲーム 記者会見要旨の送付

平素より当機構の活動に関しまして格段のご理解を賜り厚く御礼申し上げます。

本日行われました、第17回Wリーグ オープニングゲーム終了後の記者会見での
各チームヘッドコーチ・選手のコメントをお送りしますのでご査収ください。

以 上



第17回Wリーグ オープニングゲーム

会見要旨



JX-ENEOS サンフラワーズ(1勝0敗)

■佐藤 清美 ヘッドコーチ

今日は出だしが良かったのがすべてです。アウトサイドのシュートが良く決まり、ディフェンスも良かったと思います。ただ、後半は点数が伸びなかったり、相手にオフェンスリバウンドを22本も取られてしまったりしたのは課題が残りました。明日、もう一度修正して臨みたいと思います。

■#0 吉田 亜沙美 選手

今日はゲームの入りが良く、ディフェンスも40分走っていたので良かったと思いますが、後半はオフェンスリバウンドを取られ過ぎたことと、疲れてきた時に走り切れなかったのは課題となりました。そこを修正して、明日気持ちを切り替えて臨みたいと思います。

オリンピック出場が決まり、大事なシーズンになると思います。自分自身もステップアップが必要ですし、オリンピックメンバーに選んでいただけるように選手一人一人が頑張らなければいけないと思います。また、これからもっとバスケットボールがメジャースポーツになるよう、他のチームの選手たちも含めて皆で盛り上げていければと思います。

日本代表としての課題は、ディフェンスからのブレイクという形をどれだけ展開できるか。またそのために40分間走り切れるようにすること。私自身の課題としてはゲームコントロール。ゲームを支配できるようになりたいですし、今シーズンは得点にからんで常に2ケタ得点はできるようにしたいと思います。チームとしては、毎年目標は変わらず2冠達成を掲げていますし、リーグ8連覇を目指すということは、これまで私たちが作りあげてきたものの更なる積み重ねなので、連覇を続けていけるようチーム一丸となって頑張っていきたいです。

■#21 間宮 佑圭 選手

今日の反省点はリバウンドです。JX-ENEOSはセンター陣が軸となって、リバウンドやイージーシュートなどを完璧にこなさなければならないと考えていますので、今日の反省点はしっかり受け止めて、明日の試合、またこれから続くリーグ戦でも意識しながらしっかりと戦っていきたいと思います。

オリンピック出場が決まって注目度が上がっていますし、選手たちのモチベーションも上がっています。代表として恥じないしっかりしたプレーをするという心構えを持ってシーズンに臨みたいですし、さらにレベルアップできるようにしたいと思います。ケガをしないように、しっかり足元を見ながらプレーしたいと思います。個人的には、課題となる安定した外角シュートとドライブインの強さで得点が取れるように、またディフェンス面ではより多くリバウンドを取って、味方の攻撃回数を増やせるようにしたいと思います。

■#11 岡本 彩也花 選手

後半ゲームが重くなった原因はリバウンドと、疲れた時のイージーシュートのミス(自分も含めて)が増えたことだと思います。明日は決めるべきシュートをしっかり決めるよう修正してゲームに臨みたいと思います。

自分の役割である3ポイントについては迷うと入らない、思い切って打つと入るという気持ちの面に左右されるのが自分の弱いところなので、今日は“自分のリズムなら必ず打つ”という強い気持ちでシュート打ったのが良かったと思います。後半は少し迷ってしまって悪い部分が出てしまったので、明日はまた強い気持ちでプレーしたいと思います。

今後、日本代表入りを目指すためのアピールポイントは3ポイントです。これからも、コンスタントに決められるように、また今はディフェンスが課題なので、そこを頑張って強化したいと思います。



第17回Wリーグ オープニングゲーム

会見要旨



デンソー アイリス(0勝1敗)

■小嶋 裕二三 ヘッドコーチ

オープニングゲームであるにも関わらず、こういうゲームになってしまい、応援して下さった方々に申し訳ない気持ちです。楽観しているわけではありませんが、もうこれ以上悪くなることはないと思います。今日のゲームをボトムと捉え、明日以降、いかに上を目指していくか、気持ちを切り替えて臨むかが大切だと考えています。

JX-ENEOSさんはインサイドに大きい選手が多いです。そこにボールを集められて得点を重ねられるというのがJX-ENEOSさんの強みであり我々の敗戦パターンですので、中の守りを強調したものの、逆にアウトサイドで岡本選手にやられ過ぎました。もう一度、自分たちがやるべきディフェンスを取り戻して明日の試合に臨みます。

ルーキーの赤穂に関しては、これから一つでも経験を積むことが大切だと思います。いきなり、オリンピック出場を決めたセンター陣が相手で彼女には酷だったかもしれませんが、今までの練習ゲームなどではそこそこ点数も取れていましたし頑張っていました。今日はさすがに簡単にはいきませんでした。ただ、向かっていく気持ちはあったと思いますので、明日はディフェンスからきちんと守りきること、そこからオフェンスにつなげさせたいと思います。プレータイムは長いに越したことはありませんから、その分点数なりディフェンスなりで結果を残してもらいたいと思います。

■#41 伊藤 恭子 選手

今日のゲームは、オフェンス・ディフェンスとも相手の高さを意識し過ぎてしまい、自分たちの勢いのあるプレーを出すことができませんでした。明日はしっかり強気で、もっと勢いのあるプレーをしたいと思います。

中に攻めていった時のブロックショットを意識しすぎた分ドライブに勢いがなかったり、セットプレーでも相手が寄ってくるというのを意識しすぎて中でしっかりプレーができませんでした。

■#8 高田 真希 選手

出だしのところで点差をつけられるとやはりこういう展開になってしまうので、次のゲームが大事になると思います。明日、何をするかというのが自分たちのこれからにとって重要になってくると思いますので、気持ちを切り替えてプレーしたいと思います。

相手は高さがあるので、その部分でタフなシュートが多かったと思います。ただ、シュートは打てているので、うまくかわそうなどはせずに気持ちを強く持ってタフなシュートを決め切らないとJX-ENEOSには勝てないと思います。私自身、Wリーグでもアジアでも、また世界でもサイズのある選手とのマッチアップでどのように戦うかがテーマになっているので、アウトサイドでもドライブでも、もっと動きの中で得点が取れる選手になりたいと思っています。